

# 平成26年度事業計画

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

## 1. 基本方針

平成24年12月の第二次安倍政権がスタートし、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」が策定され、「三本の矢（大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略）」が基本方針として掲げられました。

政権運営において、金融、財政の政策を経て、現在、成長戦略の政策が進められており、医療・保健分野においても成長分野として、今後種々の対応が図られることが予測されております。

また、社会保障制度改革についても今年8月の「社会保障制度国民会議報告書」に基づき、2025年度までの工程が示され、わが国の抱える「少子高齢社会」への対応を図ることとなりました。

さらには、消費税増額、TPPへの対応等、経済・産業分野においても次年度以降は種々の対応を要することが予測されます。

厚生労働省における「平成26年度予算案の概算」においても「健康長寿社会の実現」が主要施策として掲げられており、予防・健康管理の推進を図ることが目標となっております。

これを受け、医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業の推進（データヘルス）、健康・疾病データベース等の研究・分析基盤の確立等の具体的施策が掲げられ、本法人の使命はさらに重責を担うこととなります。

また、本法人においては、さらなる公益目的事業の広域化を目的として、内閣府への変更認定を実行し、「地域住民の健康と福祉の向上」に寄与して参ります。

次年度は、「2014年度がん征圧全国大会」を当地で開催し、福岡県民を中心とした地域住民への公益目的事業の推進を図り、公益財団法人としての社会的責務を果たすべく、活動を行って参ります。

平成26年度の事業計画の遂行にあたっては、関係行政機関、関係医師会、関係大学等々の御指導と御支援のもと、役職員一丸となって事業運営を図って参る所存です。

## 2. 平成26年度事業計画

### 1) 調査研究事業

- ①データヘルス事業等への対応を図るべく、学術研究センターを中心とした学術調査・研究事業の推進を図る組織基盤の構築を図ります。
- ②新健康管理システムの全面稼働に伴い、研究データ・統計データ等の学術データの整備を図ると共に健診部門における円滑な健診運営体制の構築を図って参ります。
- ③研究成果については、年報や報告書の発行等を引き続き行い、地域住民への情報発信と併せ、学会等においても発表し、広く公表して参ります。

### 2) 健診事業等

- ①科学的根拠に基づく判定基準等を策定した「福岡県統合システム」を全面稼働し、構築将来的には、福岡県内の全ての健診等データを統合することを目標として参ります。
- ②内閣府への変更認定に伴い、学術データの集積を目的として、広域的健診事業の拡大を図って参ります。
- ③「働く世代の女性支援のためのがん検診の推進」への対応として、受診勧奨（コール・リコール）の体制を構築し、受診率向上に向けて取り組みを図って参ります。

### 3) 普及啓発事業

- ①「2014年度がん征圧全国大会」、「リレー・フォー・ライフ中央大会（仮称）」の開催に伴い、実行委員会、プロジェクト組織を設置し、円滑な大会運営を図って参ります。また、関係行政機関、関係医師会、関係大学、関係団体等の連携、協力のもと、福岡県民を中心とした地域住民への公益目的事業の推進を図って参ります。
- ②リレー・フォー・ライフやNPO法人ストップ・ざ・がんの会のイベントへ参画し、がん征圧活動の推進を図ります。また、地域の祭り、大学祭等々にも積極的に参加し、普及啓発を図って参ります。
- ③行政機関、医師会、医療関係団体、NPO法人等が開催するイベントへの支援、協力を行い、普及啓発を図って参ります。

#### 4) 助成事業

- ①がん医療の発展に貢献すべく、がん研究助成金事業においても助成の拡大を図って参ります。

#### 5) その他

- ①予防医学に関する全国運動の一つである「予防医学事業推進九州地区会議」を開催し、九州ブロック各県支部との連携のもと、公益目的事業の推進等を図って参ります。